18日に刈谷でプロボクシング東洋太平洋スーパーバンタム級タイトルマッチ

大橋 HEIWA 返り咲いて リングで娘を抱く

プロボクシングの元東洋太平洋スーパーバンタム級王者大橋弘政（32）＝愛知・HEIWA＝が、3度目の同王座獲得を目指して、現王者の小國以載（ゆきのり、23）＝神戸・VADY＝に挑むタイトルマッチが、18日に愛知県刈谷市の産業振興センターあいおいホールで行われる。昨年8月に王座防衛に失敗した後に長女が誕生。「勝って娘をリングに上げる」と、ベルト再奪取へ今まで以上に気合を高めている。

長女咲南ちゃんの名前を入れたグローブで練習する大橋弘政＝名古屋市中区の松田ジムで

王者は無敗23歳

「頭使って対抗」

昨年11月に長女咲南（さな）ちゃんが誕生。新しい家族の励ましが、大橋の背中を力強く後押しする。

「見ると疲れが取れるし、モチベーションになる」。練習のグローブやトランクスには早速娘の名前を入れた。年始には「タイトル奪取」と「咲南をリングへ」と書き初め。部屋のドアに張って、思いを日々強めている。

咲南ちゃんが生まれる前の昨年8月、タイトル防衛に失敗。引退もちらついたが、その迷いを断ち切ってくれたのも娘の存在だった。「『勝って』子どもをリングに上げずに身を引くのか。数年後に後悔してしまうなら続けよう」。タイトル再挑戦も運良くすぐ決まった。

相手の小國は7戦7勝で、大橋が敗れたフィリピン人ボクサーに完勝して王座を奪った。勢いに乗るホープとは大橋も練習で何度も手を合わせており「アマチュア経験もあり、器用でうまい」と警戒。若さには「ガムシャラではなく、頭を使うボクシングをしたい」と、豊富なキャリアで対抗するつもりだ。

30歳を超え、コンディションづくりも変えた。食事は揚げ物を控え、油は使ってもオリーブ油

消極的になって

▼大橋弘政（おおはし・ひろまさ）1979（昭和54）年12月31日、名古屋市中川区生まれの32歳。165センチ。同朋大に在学していた2000年3月にHEIWAジムに入門し、同年11月プロデビュー。08年6月と11年3月の2度、東洋太平洋スーパーバンタム級王座を獲得するが、いずれも防衛に失敗。右ストレートが得意の右ボクサーファイター。家族は09年10月に結婚した彩恵夫人と長女咲南ちゃん。対戦成績は37戦24勝（15KO）10敗3分け。

スキー場

（9日）

※はスノーボード可
○可、△一部可、×否
単位㌢、JR東海・西日本調べ

【新潟】			
[illegible]	※	580	○
[illegible]	※	425	○
[illegible]	※	380	○
斑尾	※	250	○
野沢温泉	※	335	○
[illegible]	※	340	○
木島平	※	130	○
しらかば2in1	※	100	○
コルチナ	※	310	○
白馬乗鞍	※	160	○
栂池高原	※	230	○
白馬岩岳	※	160	○
八方尾根	※	170	○
Hakuba47	※	218	○
白馬五竜	※	250	○
鹿島槍	※	140	○
エコーバレー	※	105	○
[illegible]	※	130	○
[illegible]	※	85	○
[illegible]	※	120	○
[illegible]	※	75	○
【岐阜】			
【三重・愛知】			
茶臼山	※	80	○
【滋賀・北陸】			
[illegible]	※	220	○
[illegible]	※	240	○
箱館山	※	165	○
[illegible]	※	85	○
[illegible]	※	240	○
[illegible]	※	90	○
[illegible]	※	140	○
[illegible]	※	190	○

南信州
こんな近くに！こんな
治部坂高原